

道北エリア内の 災害廃棄物処理に係る 課題検討

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区 分	課 題
初動対応 [経験不足]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年大きな災害が発生していないため、全庁的に災害対応の経験が不足している。 ・ 大きな災害の経験が無いことから災害時に発生する廃棄物の処理に対する危機意識がない。
初動対応 [イメージ 不足]	<ul style="list-style-type: none"> ・ シミュレーション不足が大きな課題となっている。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 災害対策本部と連絡を密にし、被害状況や避難場所設置を正確に把握する。 ✓ 環境部内で役割分担を明確にする。 ✓ 避難所のごみ収集や災害ごみ仮置場の選定等一連の対応を進める。 ・ 災害廃棄物の教育、訓練ができていない。 ・ 実際の動きについてイメージできていない。

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区 分	課 題
自治体内の 人員不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災時に小規模自治体職員は現地対応、避難所対応に人員を割かれ、災害廃棄物に対応する職員数が圧倒的に足りないことが予想される。 ・ 人口の少ない自治体では、役所職員の兼務職が多いなど人材・人員が不足すると考えられる。 ・ 人口が非常に少なく、人手・企業が非常に少ない状態で、仮置場の運営を行うに当たっての人員や機材に難がある。 ・ 災害廃棄物計画に関しては、人員的な余裕がないため策定期間は未定である。 ・ 市町村の職員の数足りておらず、また、業務多忙につき災害廃棄物処理計画の策定が進まない。

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区 分	課 題
自治体外、 エリア外 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域処理をしている自治体すべてで河川氾濫の被災が想定され、当該処分場だけでは到底処理能力が不足すると示唆されているため、道北エリア外又は道全体、道外への災害廃棄物の受入・運搬体制について確認を行いたい。 ・ 処分場が近郊にない（少ない）。 ・ 離島であるため、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害廃棄物の海上輸送等の検討が必要。 ・ 幹線道路が寸断された際の処理や輸送の検討が必要。 ・ 仮置場等の確保が必要。
広域処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3市町で広域処理をしているため、その都度意見統制などが必要となる。

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区分	課題
協定、連携	<ul style="list-style-type: none"> ・協定締結先（民間企業、団体）と災害時における具体的な対応等について確認していないため、平時に意見交換や災害発生時の連絡、協議体制の確認が必要である。 ・広大な道北エリアをカバーするための機動力、資機材の確保 ・協会会員不在自治体との連携 ・発災時に協定事業者から重機や敷き鉄板をスムーズに調達できるか不安がある。 ・災害廃棄物処理に係るボランティアスタッフの確保。 ・一次保管先の作業業者等の選定 ・能登半島地震において「受援計画」が機能せず、各支援業務が一部滞っているとの報道あり。各自治体において、災害廃棄物に対する受援計画で留意すべき点はあるか。

5

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区分	課題
仮置場 [選定]	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場の選定に苦慮している。 ・公有地に広い空き地がなく、仮置き場の設置場所に苦慮している。 ・自治体内や近隣に仮置場として相応しい場所がなく（立地の問題、面積の問題）、本来避けるべきである学校グラウンドや観光施設の駐車場を仮置場として選定せざるを得ない。 ・車の通れる道路が島の片側しかなく、災害時に道路が寸断された場合、仮置き場の設置場所を選定する事に苦慮している。 ・災害の種類に応じた仮置場選定 ・想定外の災害ごみの集積場所

6

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区分	課題
仮置場 [レイアウト]	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の種類に応じた仮設場レイアウト。
仮置場 [運営・管理]	<ul style="list-style-type: none"> ・一次保管先の作業業者等の選定 ・人口が少なく、仮置場運営の人員配置に難がある。 ・人口が非常に少なく、人手・企業が非常に少ない状態で、仮置場の運営を行うに当たっての人員や機材に難がある。 ・市街地外に2次仮置場を設置する場合、ピストン輸送を行える業者が殆どない。 ・災害廃棄物処理置場の管理や運営のノウハウが不足 ・災害廃棄物が大量に発生した場合、保管先の管理をどのように行うか

7

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区分	課題
住民周知	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に対して片付けごみと仮置場への搬入方法等の周知方法 ・防災無線が無い場合、広報車以外での周知方法
運搬	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物の運搬（衛生施設組合への搬入） ・幹線道路が寸断された際の輸送の検討が必要。 ・災害時に道路が寸断された場合、災害廃棄物の収集が困難となる事に苦慮している。
資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物の資源化

8

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

区分	課題
災害廃棄物処理計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物が出た場合には大まかに、防災担当者と話しているのみで、処理計画の多くの部分は未定である。 ・災害廃棄物計画に関しては、人力的な余裕がないため策定期間は未定である。 ・市町村の職員の数が足りておらず、また、業務多忙につき災害廃棄物処理計画の策定が進まない。 ・大きな災害の経験が無いことから災害時に発生する廃棄物の処理に対する危機意識がなく、周辺市町村の動向に合わせて計画策定に取り組まない状況が見られる。いかに災害廃棄物処理計画を策定してもらえるかという課題が残る。 ・計画策定に対する費用も補助金等がないため難しいと考えている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の計画で考えられる課題はなし。 ・まだ何の検討もされていない点。課題が何なのかも、はっきりしていない。 ・特になし。

9

エリア内の災害廃棄物処理に係る課題

<課題等のまとめ>

【処理対応】

- ・イメージ不足、経験不足のため、発災時に対応できるか不安。
- ・災害が多くない地域のため、平時から危機意識が高くない。

【自治体内・外の人員、連携】

- ・自治体内の災害廃棄物対応職員が少なく、処理計画策定や発災時対応が困難。
- ・広域処理をしている自治体が一斉に被災した場合に備え、より遠方の自治体との連携も検討。
- ・民間企業や団体と協定を締結し、災害時には人員と機材の円滑な確保が必要。

【仮置場】

- ・自治体内での選定が困難。
- ・管理・運営する人材の確保が困難。

【他】

- ・住民周知 ・廃棄物の運搬手段・経路 ・資源化

他の自治体に聞いてみたいことはありますか。

似たような課題に取り組んだ経験や解決した例はありますか。

エリア内で協力して対応できる課題はありますか。

10